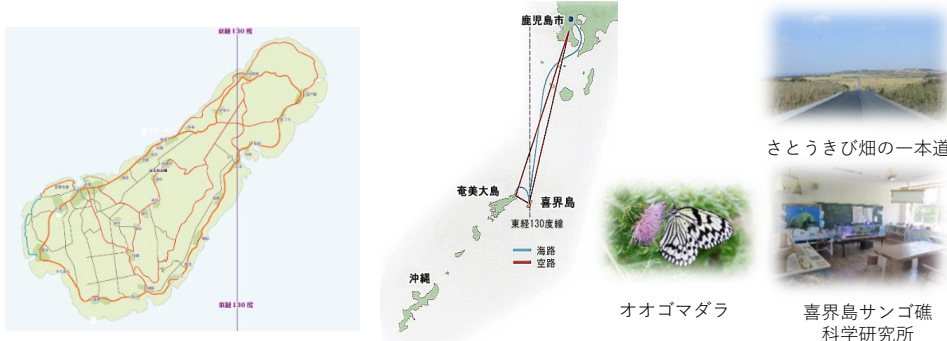


鹿児島県喜界町との連携概要書

美しい海に囲まれた実り多い島

喜界島は東経130度線上の太平洋と東シナ海洋上に浮かぶ、隆起サンゴ礁の平坦な島で、現在でも年間に約2mmずつ隆起し、学術的にも非常に貴重な島といわれている。平成27年には、喜界島サンゴ礁科学研究所がオープンし、国内外から多くの研究者が本町を訪れている。また、日本最大級のオオゴマダラや渡り蝶として有名なアサギマダラ等蝶が飛び交う町として知られている。主産業は、基幹作物であるさとうきびを中心とした農業で、白ゴマは、日本一の生産量を誇っている。



喜界町まち・ひと・しごと創生総合戦略基本目標

- きらりと輝くためのしごと創出
- きらりと輝くためにひとを呼び込む
- きらりと輝く若い世代を後押しする
- きらりと輝き安心安全なくらしができる地域をつくる



市章



喜界高校

- ◎市 長：川島 健勇
- ◎面 積：56.82km² (全体の約40%が耕地面積)
- ◎人 口：7,150人 (平成28年7月1日推計)・世帯数 3,347世帯
- ◎交 通：【飛行機】鹿児島から約1時間10分 奄美大島から約15分
【船】鹿児島から約11時間 奄美市名瀬から約2時間10分
- ◎主産業：農業が基幹産業であり、さとうきびと園芸作物、畜産等を組み合わせた複合経営が盛ん。
- ◎教 育：小学校2校 (喜界小学校児童数296人、早町小学校児童数82人)
中学校1校 (喜界中学校生徒数192人)
高校1校 (喜界高校 普通科101人・商業科87人)
(※児童・生徒数は平成28年5月1日現在)

東京農業大学との関係

- 昭和43年以降、春・夏休暇を利用しての農業研修の実施
- 研修期間 (3週間から1ヶ月)
- 昨年までに300名以上の受け入れ

集落が運営する
おもてなしハウス



東京農業大学出身者

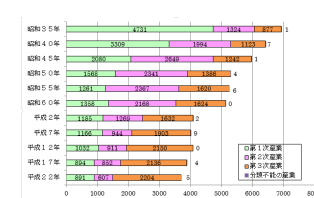
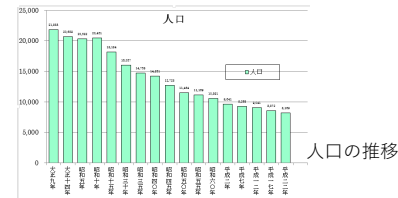
- 豊原 秀和 (東京農業大学名誉教授)
- 喜禎 浩之 (朝日酒造(株)代表取締役、醸造学科卒)
- 豊原 周子 (豊原畜産、喜界町教育委員、国際農業開発学科卒)

今後の交流の可能性

- ◎農大生の農業実習の場の提供ならびに地域農業活性化支援
- ◎「喜界町総合振興計画」の具現化に向けての連携
- ◎地域課題の解決に向けた連携・支援
 - (1) 農産物を活用した新たな観光資源の創出
 - (2) 地域イノベーションに向けた取組への支援
 - (3) 地域で活躍できる人材育成支援



花良治ミカン
白ゴマ



- ◆東京農業大学の窓口教員
国際農業開発学科教授 杉原たまえ
- ◆農大の関連教員
国際農業開発学科教授 杉原たまえ、東京農業大学名誉教授 豊原秀和
応用生物科学部食品加工技術センター教授 野口智弘、
国際農業開発学科教授 入江健治
- ◆喜界町の担当者
喜界町 企画観光課 地方創生推進室 室長 徳 勝志
〒891-6292 鹿児島県大島郡喜界町大字湾1746番地
TEL 0997-65-3683 / FAX 0997-65-4316
E-MAIL sosei-1@town.kikai.lg.jp



喜界町キャラクター
よろこびと